

## 「日本紅斑熱」届出 増加について

例年、春から秋にかけて、ダニ媒介感染症（日本紅斑熱・SFTS等）の届出を受けています。和歌山市におきましても、今年はすでに7件の届出を受け、その内4件が10月に入り、集中して届出されています。これらの症例はいずれも近隣地域（市内北西部）の行動による感染が疑われます。

つきましては、臨床上、ダニ媒介感染症が疑われる患者を診断した場合は、行政検査体制を整備していますので、情報提供お願いいたします。

	症例1	症例2	症例3	症例4
年齢・性別	50歳代・男	70歳代・女	70歳代・女	50歳代・男
届出日	10月2日	10月3日	10月3日	10月4日
発症日	9月30日	9月27日	9月28日	9月27日
症状	発熱・発疹 肝機能異常	発熱・発疹 肝機能異常・DIC	発熱・発疹 肝機能異常	発熱・発疹 肝機能異常
診断方法(PCR)	血液(－) 痂皮(+)	血液(+) 痂皮(+)	血液(+) 痂皮(－)	血液(－) 痂皮(+)
咬傷部位(刺し口)	下腿部	腹部	下腿部	下腿部

年間届出数	日本紅斑熱	SFTS
2019(40Wまで)	7	0
2018	4	2
2017	7	1
2016	2	0
2015	0	0

＜行政検査で確保していただきたい検体＞

- ①刺し口 痂皮（滅菌スピッツ）
- ②血液（EDTA加血 2cc程度）

